

事業概要表(草の根パートナー型)

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	フィリピン
2. 事業名	フィリピンボホール州タグビララン市におけるプラスチックリサイクル事業による女性の所得向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>フィリピンはジェンダー指数の高い国として世界中から高評価を受けているが、それは富裕層に限ったことであり、貧困層の女性は切実かつ根深いジェンダーの不平等や、これによる貧困問題を抱えている。</p> <p>この問題を解決すべく、タグビララン市行政は 2000 年に女性の住民生産グループ「KALIFI Organization (以下、カリピ)」を組織化した。しかしこのカリピは設立から 16 年後の現在に及んでも、金銭的利益を得たり、新しい技術を習得可能である活動ができておらず、組織化の当初の目的を果たすに至っていない。</p> <p>この事態を重く見たタグビララン市行政は、本学と現地大学で共同開発された小型プラスチックリサイクルマシンを活用し、収益率の高いカリピの新事業としてプラスチックリサイクル事業を開始しようとしている。タグビララン市行政は、この事業の市内全域での実施にあたり、本学による技術移転を要請している。</p>
4. プロジェクト目標	タグビララン市の女性住民生産グループ「カリピ」のプラスチックリサイクル事業、およびプラスチックリサイクル事業から派生した製造業による売上が増加している。
5. 対象地域	フィリピンボホール州タグビララン市の全バランガイ 15 箇所
6. 受益者層	タグビララン市の女性住民生産グループ「KALIFI Organization (カリピ)」に所属し、本学が実施するプラスチックリサイクル事業に参加する女性 約 225 人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>カリピ参加者が、プラスチックリサイクル施設にアクセスできるようになっている。</li> <li>カリピ参加者が廃棄プラスチックを材料とした基本製品群の製造・販売を行っている。</li> <li>カリピ参加者が廃棄プラスチックを材料とした応用製品群の製造・販売を行っている。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 本学及びタグビララン市役所がカリピを再組織化し、カリピプレジデント向けにマネジメント・リーダーシップワークショップを開催する。</li> <li>1-2. 本学及びタグビララン市役所、バランガイがプラスチックリサイクル施設 15 箇所の準備を行う。</li> <li>1-3. 本学がタグビララン市役所、バランガイと共に資機材を設置する。</li> <li>2-1. 本学及びタグビララン市役所が企業や省庁など B to B 市場に向けたマーケティングを行う。</li> <li>2-2. 本学及びタグビララン市役所、がカリピとバランガイに向けた基礎的な簿記ワークショップを開催する。</li> <li>2-3. 本学が、E-コマース、電子カタログを備え、事業広報も行えるウェブサイトを構築し、カリピ本部と共同で管理運営を行う。</li> <li>2-4. 本学がカリピに対し、廃棄プラスチックによる材料を製作するワークショップを開催する。</li> <li>2-5. 本学がカリピに対し、基本製品群の製作ワークショップを開催する。</li> <li>2-6. オペレーション安定後、四半期に一度、本学、タグビララン市役所、カリピ本部の共同にて、営業戦略/進捗確認会議を開催し、四半期毎の営業戦略の立案、成果達成・進捗の確認、各カリピそれぞれの具体的な生産・販売計画を立てる。</li> <li>2-7. カリピが基本製品群の生産・販売を行う。</li> <li>2-8. 本学がカリピに対し、ビジネス基礎ワークショップを行う。</li> <li>2-9. 本学が原則として月に一度、カリピを伴い営業活動を行う。</li> <li>2-10. 本学及びタグビララン市役所、カリピが DTI の協力のもとで基本製品群をトレードフェアにて展示・販売する。</li> <li>3-1. 本学及びタグビララン市役所が応用製品製造に使用する機材を各リサイクル施設に追加で設置する。</li> <li>3-2. 本学がカリピに対し、応用製品群の製作ワークショップを開催する。</li> <li>3-3. オペレーション安定後、四半期に一度、本学、タグビララン市役所、カリピ本部の共同にて、営業戦略/進捗確認会議を開催し、四半期毎の営業戦略の立案、成果達成・進捗の確認、各カリピそれぞれの具体的な生産・販売計画を立てる。</li> <li>3-4. カリピが応用製品群の生産・販売を行う。</li> <li>3-5. 本学がカリピに対し、ビジネス応用ワークショップを行う。</li> <li>3-6. 本学が原則として月に一度、カリピが行う営業活動に同行し、フォローアップする。</li> <li>3-7. 本学及びタグビララン市役所、カリピが DTI の協力のもとで応用製品群をトレードフェアにて展示・販売する。</li> </ol>
8. 実施期間	2018 年 2 月～2021 年 8 月(3 年 7 カ月)
9. 事業費概算額	57,329 千円
10. 事業の実施体制	実施機関は学校法人慶應義塾及びタグビララン市行政となる。支援機関は、日本から FabLab 関内、山口情報センター、津田塾大学、比国から比国貿易産業省、ボホール島州立大学、市行政社会福祉開発課。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	学校法人慶應義塾
2. 活動内容	実学の精神に基づいた教育・研究・医療活動